



東京都
支部

大江戸通信

第 83 号 平成 27 年 1 月 1 日発行

東京都支部校友会／広報委員会編集部
本部校友会事務局：東京都千代田区九段南 4-8-28

連絡先：080-5032-1467
Tel/Fax：03-3234-5858

発行責任者：金子栄輔
編集責任者：高木典章

新年明けましておめでとうございます。

リレー随想

東京オリンピックまであと 2060 日

東京都支部・支部長 金子栄輔



もくじ

リレー随想…………… 1

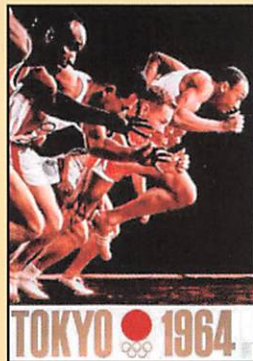
平成 26 年度関東ブロック
総会……………2~3

市ヶ谷へようこそ
Come on in!……………4~5

新年名刺広告……6~7

事務局だより……………8

編集後記……………8



「2020 東京オリンピック」開催まで 6 年、日数にしてあと 2060 日。我が国で第一回目が開催されたのは 1964 年。第二次大戦から約 20 年、復興を遂げた日本が再び国際社会の表舞台に立つイベントとして、日本にとって、日本人一人ひとりにとって重要な意味をもつ大会だった。

約半世紀前の東京オリンピックは「創造」と「破壊」によって東京の姿を激変させた。ガラガラした太陽のもと、クレーンにつりさげられた鉄球が古い建物を壊す——市川昆監督「東京オリンピック」映画の冒頭のシーンである。

貧弱だった道路などのインフラを世界的な水準まで整備する一方で、東京から江戸時代以来の豊かな水辺空間や古い街並みを奪い去った開催でもあった。一方で、オリンピックの開幕を 10 日後に控えた 10 月 1 日には東海道新幹線が開通し、その直前の 9 月 17 日には、東京モノレールが浜松町～羽田空港間を開業している。6 月 16 日には新潟地震もあった。この時私は新潟に出張していて、竣工したばかりの昭和大橋の橋桁が倒れ、昭和の初期に創られた万代橋は壊れなかったが、信濃川では液状化現象により県営アパートがほぼ横倒しになった風景を目にしている。巨人軍・王貞治の「55 号ホームラン日本記録樹立」、日米衛星 TV 初中継の日に飛び込んだ「ケネディ大統領暗殺事件」は、世界の情報が瞬時に伝わる現在の情報化時代の始まりでもある。また、日本大学の入学式・卒業式が開かれる「日本武道館」もこの年に開館している。

私事だが私の体重は現在 95 ㎏、オリンピック開催までに 70 ㎏の減量を目指す。そのためには 1 日 12 ｸﾞﾗﾑ、大匙 1 杯減量すれば 2060 日で達成だ。元日を区切りに 1 日 12 ｸﾞﾗﾑの減量にチャレンジしようと思う。皆さんは東京オリンピック開催までの 2060 日をどう使いますか。次回は内藤さんにバトンタッチします。

第35回関東ブロック総会 in 栃木県大会

関東ブロック総会は11月9～10日の2日間、鬼怒川温泉で開かれた。今年度は栃木県支部の主催である。当日は13時からブロック役員会、14時20分からは45名の参加者を得てブロック総会が開催された。各支部の現状や通信教育部校友会、日本大学校友会の現状報告等があり、平成27年度ブロック総会主催支部は埼玉県支部に決定した。その後第35回記念講演会、懇親会、二次会が開かれた。

今回はブロック総会第35回記念大会に相応しく、日本大学校友会栃木県支部長で栃木県知事の福田富一氏から「人として生きる」の演題で、栃木県の魅力と実力を分析しながら生涯現役の社会づくりや奥さまは現在通信教育部5年生に在学しているなどのお話いただいた。翌日は紅葉まっ盛りの日光路を楽しんだ。



多くのブロック会員にご参加戴きました



ブロック役員会



総会では活発な意見交換が

懇親宴会は椅子席で



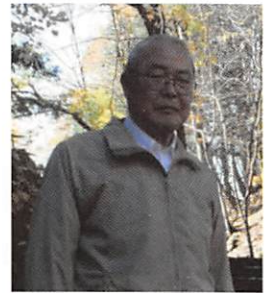
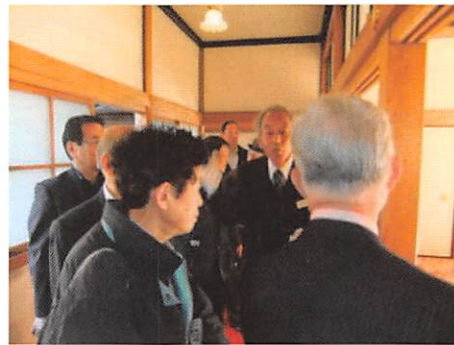
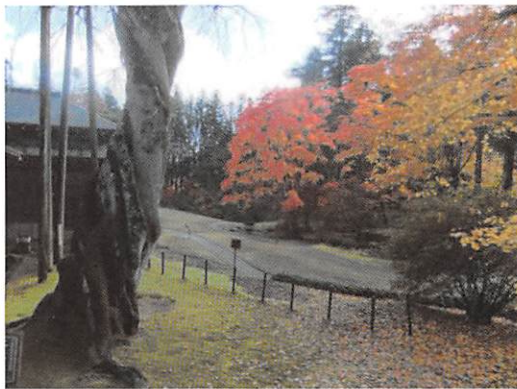
講演する福田栃木県知事



第35回関東ブロック総会 in 栃木県大会

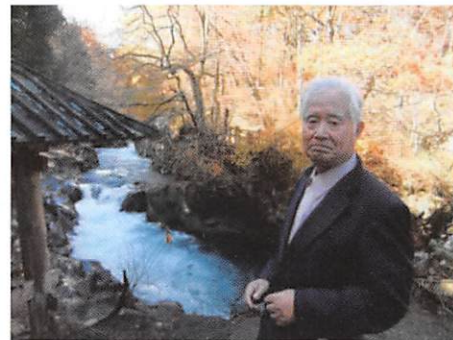


紅葉の美しい中で観光に参加した皆さんでハイチーズ



千葉県支部長の目黒さん

熱心に説明を聞く田口さん



いつまでもお元気。
川又顧問

川熊さんと内藤さん



栃木県支部松島さんにはお世話になりました。

いつまでもお元気。埼玉県支部
元応援団長斎藤さん。



市ヶ谷へようこそ Come on in !

日本大学通信教育部市ヶ谷キャンパスがよいよオープン

通信教育部 1号館・2号館、竣工記念メッセージ

日本大学通信教育部長 福田 弥夫 先生



日本大学通信教育部は、日本大学新キャンパス計画に基づき、発祥の地である神田三崎町から市ヶ谷へ移転、昨年 9 月より市ヶ谷を本拠地とした新しい通信教育部キャンパスが誕生しました。

通信教育部は昨年 11 月に創立 66 周年を迎えました。昭和 23 年に創設され、同 25 年には大学通信教育課程としての認可を受け、現在までに約 3 万人の卒業生を世に送り出しました。このたびの新校舎移転では最新の ICT 機器を設置しメディア教材を充実させ、スクーリング充実のためのサテライトスクーリングも可能になり、今まで蓄積してきた e ラーニング等の教育資産を日本大学全体の教育へと還元する環境も整いました。

日本大学の前身である日本法律学校は、創立当初より地方在住者や就労などで通学できない学生を対象とした校外生制度を設け、講義録を使用した在宅学習を提供して参りました。日本大学における通信教育は日本法律学校を始まりとします。建学の精神と通信教育部の目的及び使命を深く認識し、新校舎竣工を機に教育内容のさらなる充実に向け努力してまいります。(パンフレットより要旨転載)



市ヶ谷へようこそ Come on in !

通信教育部新事務局へ移転

市ヶ谷校舎へ移転に伴い、通信教育部校友会事務局は昨年9月1日、新事務所へ移転した。場所は校舎の並びにある日本大学会館8階である。明るく見晴らしがよく春には市ヶ谷の土手に咲く美しい桜を上から眺めることができます。市ヶ谷に来られた時は校友会事務局へもぜひお立ち寄りください。



校友会事務局はこの会館の8階です。



会報誌編集委員会の師田さんと壁谷さん。手前は神奈川県の本間支部長。奥の机が東京都の事務局です。

事務局から見える外堀りと釣り堀



本部事務局と整理に忙しい中田事務局員



近藤 裕氏「本を出版しました」



東京都支部校友会会員であるの近藤裕氏(昭和44年・経済学部卒)は今から7年前「喜寿・金婚」を自費出版されましたが、このほど出版社である(株)文芸社の目にとまり、表題や体裁を変え、その後の7年間分を加筆して「ベターハーフ」と言う書名で出版されました。一部1300円+税で販売されています。ぜひお買い求めの上ご感想をお送りください。

「ベターハーフ」 近藤 裕・著

『貧困・戦争・苦学……でも、良き妻を得て』感謝の気持ちが溢れ出した波乱万丈の半世紀
1930年、8人兄弟の第7子として生まれた著者。両親の死や戦争などの荒波に翻弄されながらも懸命に生き、「稼ぐに追いつく貧乏なし」その言葉を信じ、未来を信じ、妻とともに歩み続けて頑張ってきた。幸せの始まりは幸子さんとの結婚後から。感謝と敬愛が込められた言葉に心が洗われます。